

第45回北信越国民スポーツ大会 ビーチバレーボール競技

男女共に本国スポへの切符を獲得！

今年度から、ビーチバレー少年の部も各ブロック大会が始まり。北信越ブロック第1回大会として、7月6日(土)、7日(日)の2日間、石川県羽咋市で行われました。

長野県からは、男子は長野工業高校の[松本・松本ペア]、女子は松商学園高校の[伊藤・務台ペア]が本国スポの代表権獲得を目指して奮闘してくれました。結果は、男女とも第2代表ではありましたが、本国スポへの切符を獲得しました。

試合は5県総当たりのリーグ戦。1・2セットは21点。最終セットは15点のルールで行われました。

1日目、男子は第1試合からの登場で、富山県との対戦でした。開幕戦という緊張感からか、両チームとも流れを掴み切れず、ファイナルセットにもつれ込む展開となりました。ファイナルセットも一進一退で進みましたが、デュースの末に長野が17-15で逃げ切り、貴重な1勝を上げました。2試合目は優勝候補の新潟県と対戦しましたが、終始相手の流れで試合が進み、0-2で敗戦。1勝1敗となりました。

女子は、初戦が優勝候補の福井県との対戦となりました。終盤まで粘りましたが、各セットとも押し切られて0-2で敗戦。2試合目の富山県との対戦も1点を争う展開となりましたが、第1セット21-18、第2セット21-19と、接戦を制して初日を男子同様1勝1敗で終わりました。

2日目、男子は高身長のある石川県、爆発力のある福井県と対戦しましたが、昨日とは違って二人とも安定したレシーブから正確なショットを繰り出し、相手に隙を与えず共に2-0で勝利。3勝1敗として4戦全勝の新潟県に次ぐ2位となりました。

女子も2日目は安定した試合運びで石川県、新潟県に危なげなく勝利して3勝1敗で試合を終え、最終戦の福井県対富山県の結果待ちとなりました。福井県が1セット取れば長野県は2位以内となりますが、試合

【県強化委員長 鏡味照明】
は終始富山県ペースで進み、第1セットを富山県が先取、第2セットも一時は富山県が20-19でマッチポイントを掴んで万事休すかと思われましたが、福井県も意地を見せて逆転で2セット目を取ってくれました。結果的には富山県が勝利し、3勝1敗で3チームが並びましたが、最終的には得失セットの差で長野県が2位となり、男女ともに本国スポに進むことができました。

男子の長野工業はチームのレギュラー選手が、女子の松商学園も昨年の国スポを経験した選手がおり、全国で上位入賞するチームは身長・経験ともに各県のトップレベルの選手がビーチバレーにも参戦してきています。今回国スポに出場する長野県チームの頑張りを期待すると共に、2028長野国スポに向けて長野県選手の更なるレベルアップの指標となるようお願いいたします。以下、各チームのコメントです。



↑ 男子 長野工業 & 女子 松商学園

《 長野工業高校 松本航太・松本康駕 》

私たちは昨年の悔しさを糧に日々努力してきました。今年こそはなんとか勝ちたいと思い二人の技術や連携を高めてきました。その結果、県予選やミニスポをなんとか勝ち抜き、本大会に出場することができました。国スポまでの間に1つ1つのプレーの質を高

めていきビーチバレーボールの集大成となる本大会では、お互いの良さを最大限に発揮して悔いの残らないように二人で楽しくプレーをしたいと思います。また、一つでも多く勝ち、たくさんの人に応援されるように一生懸命プレーをしてきます。

《 松商学園高等学校女子バレーボール部 伊藤沙帆、務台真己 》

先に行われた北信越国民スポーツ大会では準優勝し、佐賀県で9月に行われる国民スポーツ大会への出場が決まりました。北信越大会では、3県同率で3勝1敗となつてしまい、セット率で順位が決まりました。自分たちは余裕を持って勝てる試合でも相手に無駄な点数を多く与えてしまい自分たちが苦しい展開を最後まで作ってしまいました。この大会で、自分たち

の課題が明確になったので夏の期間の練習を通してさらにレベルアップし、全国でも通用するような力をつけていきます。いつも応援して下さる長野県ビーチバレーボール連盟の皆様、また指導して下さる方々への感謝の気持ちを忘れずに、北信越大会で学んだ1点の重みを大切にして国民スポーツ大会では入賞できるように頑張ります。

パリ五輪を控えた石川・山岸両選手に中学関係者有志から激励金を贈呈！

【県総務副委員長 木下久資】

7月9日（火）、パリ・オリンピックに向けナショナルトレーニングセンターで最後の調整をしていた全日本女子チームを（公財）日本中体連バレーボール競技部の前強化委員長である竹村昭浩先生（現 本協会副会長・長水協会会長）が訪問し、石川真佑選手（長野市立裾花中学校出身）とリザーブメンバーとして選出された山岸あかね選手（須坂市・長野市立裾花中学校出身）に県内中学校関係者からの激励金と熱いエールを贈りました。この激励金は、県中総合体育大会夏季大会の各地区大会等の機会に全県下で募ったものです。

二選手共、充実した練習が出来ているようで表情も良く、「長野県の中学バレーボール関係の皆様、有り難う御座います。皆様からの声援を胸に頑張ってきてます」というメッセージを頂きました。



→ 石川真佑選手（右）

→ 山岸あかね選手（左）

天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会 長野県ラウンド

男子はチームS長野が初優勝 女子は松商学園高校が6年ぶりに優勝

【安曇野・東筑協会理事長 森 哲夫】

7月7日（日）に男子8チーム、女子9チームの参加で開催されました標記大会ですが、初戦から熱戦が繰り広げられる中、男子決勝は南長野排球クラブ VS チームS長野とクラブチーム同士の対戦となりました。序盤から競り合う試合展開になりましたが、チームS長野が2-0で勝利を収め、初優勝を飾りました。

女子決勝は松商学園高等学校 VS 長野商業高等学校の高校生同士の対戦となりました。序盤から点の取り合いとなりましたが、粘る長野商業を振り切り松商学園が2-0で勝利し、6年ぶり5回目の優勝を果たしました。

男女優勝チームは9月21日（土）・22日（日）に富山市で開催されます北信越ブロックラウンドに出場となります。両チームのご健闘をお祈り致します。





↑ 男子優勝 チームS長野



↑ 女子優勝 松商学園

第63回長野県中学校総合体育大会夏季大会(第54回全日本中学校選手権大会 長野県予選会)

男子は小布施がクラブとして初制覇！ 女子は松本国際中が連覇で2回目の優勝！

標記大会が7月13日(土)・14日(日)の2日間、男女共に長野市真島総合スポーツアリーナ(ホワイトリング)で開催されました。

今年度からクラブチームに移行した小布施は、攻守共にその無い試合運びで飯島・中川中に快勝して決勝に進出。もう一方の準決勝では、NEX WAY SC BOARSが松本清水中とのフルセットの接戦を制して初めて決勝に駒を進め、男子の決勝戦は攻守にバランスのとれたクラブ同士の対戦となりました。その決勝戦は、双方ボール扱いが上手なこともあって終始接戦の展開となりましたが、25-21、28-26で小布施が勝利し、クラブとして初優勝を飾りました。

北信越出場決定戦は、181cmのエースを中心とした清水中がスタメンの中に3年生が1人しか居ない飯島・中川中を25-23、25-18で下し、北信越大会出場権を得ました。

一方の女子、最終日に残ったのは、新人大会の県大会でベスト4になった松本国際中・グランツ・ガロン

【県中体連専門委員長 牛田佳伸】

ズ夢王・上田第五中の4チームでした。

松本国際中 vs ガロンズ夢王の準決勝は、1セット目の20点以降の競り合いを制した松本国際中が第2セットを一方的に取って勝利しました。もう一方の準決勝、グランツ vs 上田五中の対戦は、グランツの両エースに対して上田五中の2年生エースが食い下がりましたが、25-23、30-28でグランツが競り勝ちました。

北信越出場決定戦は、夢王の両エースが確実に加点。準決勝で力尽きた感のある上田五中を破って、ガロンズ夢王が北信越大会の出場権を手中にしました。

決勝の松本国際中 vs グランツ戦は、両エースの強打で引っ張られた松本国際中が競り合いながらも2セットを連取。昨年夏に続いての連覇で2回目の優勝となりました。

北信越大会は8月5日(月)～7日(水)、新潟県長岡市に於いて開催されます。出場チームの健闘をお祈り致します。



男子:松本ヴィガ 混合:大豆島が共に初優勝！ 女子:小布施は 23 回目の制覇！

【県小連理事長 西澤悦郎】

標記大会を6月30日(日)、軽井沢風越公園総合体育館を主会場として男子8チーム、女子16チーム、混合4チームの参加で開催しました。

男子は松本ヴィガフェニックス、混合は大豆島JVCが共に初優勝、女子は長野小布施スポーツ少年団が7年ぶり23回目の優勝を果たし、8月6日～9日に東京体育館を主会場として首都圏で行われる全国大会の出場権を獲得しました。以下、各優勝チームのコメントです。

《 松本ヴィガフェニックス監督 野原啓司 》

チームとして23年ぶりの決勝進出、個人としては決勝で初めて勝利をつかむことができました。これも会場に詰めかけてくれた保護者の皆さんとご家族をはじめ、多くの皆さんの応援のおかげです。心より感謝いたします。

決勝戦では1セット目を失い、2セット目はキャプテン関らの活躍で13-18からの逆転でした。本当に苦しい戦いでしたが、子供たちのあきらめないプレ

一、勝つんだという強い思いがボールに乗り移って勝ち切ることができました。

全国大会では連係プレーの精度を上げ、子供たちが楽しんで伸びのびとプレーできるようサポートしたいと思います。

最後になりましたが、本大会の開催にあたりご尽力いただきました関係者の皆様に心より感謝申し上げます。



《 長野小布施スポーツ少年団コーチ 土屋正史 》

第44回全日本小学生バレーボール大会長野県大会において、7年ぶり23回目の優勝を果たし、全国大会への切符を手に入れました。

この県大会では4試合11セットを戦い、その内3試合がフルセットになりました。選手は、体力的にも精神的にも疲れたと思いますが、優勝できて本当に良かったです。

試合を振り返ると、普段の練習から重点を置いて練習してきたサーブとサーブカットのミスが少なく、大きく乱れなかったのが勝因だったと思います。また、レシーブが乱れても周りの選手がカバーし合い、チー

ム一丸となって1点を取るプレーを何度も見て、チームプレーの素晴らしさを感じました。

これから全国大会に向けて、この県大会での優勝に満足せず、課題を少しでも克服して自信を深めるとともに、自信を過信とすることのないように、そして長野県代表の名に恥じぬよう、選手・保護者・指導者が一致団結をして頑張りたいと思います。

この県大会開催に際して、当日迄の準備から運営等をして頂いた県小連役員の皆様、開催地の佐久支部役員の皆様、本当に有り難うございました。今後ともよろしく申し上げます。



《大豆島JVC 戸谷》

創部 33 年、混合チームとなり 6 年目で初の全国大会出場となりました。

ここに来るまで、たくさんの試合を重ねる中、子供たちの成長する姿を感じました。長身のエースとセッター。その 2 人へ繋ぐレシーブの強化！大豆島 JVC の【繋ぐバレーからの攻撃】が形となってきました！！

全国大会では、小学生らしく、元気に！！楽しく！！プレーすることを目標に、まず予選では 1 つでも多く勝てるように！！そして何より、感謝の気持ちを忘れず、長野県の代表として日頃からお世話になっている各チームの方々の方まで最高のプレーができるように努めて参ります。

ぜひ！応援よろしくお願ひいたします。



第27回全国ヤングクラブ大会 長野県予選会

男子はNEX WAY SC BOARS 女子はVC長野トライデンツジュニアが制する

7月6日(土)、岡谷市民総合体育館の東体育館と岡谷北部中学校大体育館において、標記大会が開催されました。本大会は長野県ヤングクラブバレーボール連盟が設立されて初の県予選会となりました。中学生のバレーボール競技を取り巻く環境が大きく変化しようとする中、新たなU-14 カテゴリーのクラブチームが立ち上がり、過去最高のチーム数(男子6チーム、女子12チーム)の参加を得て、男女ともに1回戦から熱戦が繰り広げられる盛大な大会となりました。

男子決勝戦、NEX WAY SC BOARS対S ANADA V. B. Cの対戦は昨年と同カードでした。両チームとも速攻を織り交ぜながらアウトサイドヒッターで得点をするという展開を繰り返す中、掴んだ流れを手放さなかったNEX WAY SC BOAR

【県ヤングクラブ連盟理事長 市川敏文】

Sが、2年ぶり2度目の栄冠を勝ち取りました。

女子決勝は、VC長野トライデンツジュニアと風信子ヤングクラブの対戦となりました。パワーのあるスパイクや軟打・フェイント等、多彩な攻撃で得点を量産するVC長野に対して、風信子はコートの幅をいっぱいにかした攻撃で食らいつく展開。両チームともに守備力・攻撃力充分な見応えのある試合となりましたが、VC長野の決定力が頭一つ抜け、こちらも2年ぶり2回目の栄冠を掴みました。

9月14・15日開催の第27回全国ヤングクラブバレーボール大会は男子が大阪府立門真スポーツセンターで、女子は和歌山ビッグホエール・ビッグウエーブで開催されます。今大会で推薦を勝ち取った両チームの活躍を期待し、応援したいと思います。



↑ 男子優勝 NEX WAY SC BOARS



↑ 女子優勝 VC長野トライデンツ

スポレク・フリー・ゴールドの各部で全国・北信越大会への出場チームが決定！

【ソフト連盟理事長 篠原初男】

7月7日(日)に東御市の東御市中央公園第一体育館において、標記大会が開催されました。体育館は冷房も完備されており、気温の高い日ではありましたが、気持ちよくプレーすることができました。

この大会は、スポレクの部・フリーの部が全国予選会で、ファミリー・ゴールド・プラチナが北信越総合の予選会となる大会でした。スポレクの部には5チーム、フリーの部には4チーム、ゴールドの部には8チーム、プラチナの部には3チームがエントリーし、ファミリーの部は残念ながら参加チーム無しでしたが、合わせて20チームの参加となりました。

スポレクの部は5チームだったため、総当たり戦を行った結果、スーパーマックス(小諸市)が優勝。9月27日(金)～29日(日)に栃木県宇都宮市に於いて行われる第13回全国ソフトバレー・スポレクフェスティバルに出場致します。

フリーの部も4チームだったため、総当たり戦を行いました。全勝優勝した翔舞(小諸市)が11月23日(土)～24日(日)、神奈川県大和市に於いて開催の第9回全国ソフトバレー・フリーフェスティバルに出場致します。

→ スポレク
スーパーマックス(小諸市)



← フリー
翔舞(小諸市)



ゴールドの部は8チームでしたので、先ず4チームによる予選リーグ戦を行い、上位4チームによる決勝トーナメント戦を行いました。決勝は松代クラブ(長野市)とすばる広丘Ⅲ(塩尻市)の戦いとなり、2-1で松代クラブが優勝。一方、プラチナの部は3チ

ムによる総当たり2回戦を行った結果、あすなる(茅野市)が優勝。両チームは、11月3日(日)に石川県津幡町で行われる2024年度ソフトバレー・北信越総合フェスティバルに出場致します。

→ ゴールド
松代クラブ(長野市)



← プラチナ
あすなる(茅野市)



和気あいあいと男女合計8千チームが集って大いに盛り上がる！

千曲市で7月21日(日)、標記交流大会が開かれました。今年は、男子が4チーム、女子も4チームが参加しましたが、ミックスチームは1チームだけの申し込みだったため中止となり、8チーム参加の大会となりました。戸倉上山田中学校本体育館で男女それぞれ1面を使って、予選は1セットマッチのリーグ戦を行い、その後、三位決定戦と決勝戦を行いました。試合一運営一試合一試合・・・と、選手は休み無しで5～7セットを戦いました。予選後に昼食タイムを取りましたが暑い中、選手も審判団も本当に頑張っていました。

「子ども達のお陰で楽しませてもらいました」と、10年ぶりにベンチに入った監督の言葉。終始ニコニコでコートチェンジやタイムにはモップがけをするなど、選手達との時間を楽しんでいました。この光景はOB・OG交流大会ならではの光景でしょうか！今回は、チーム母体をはっきりして大会の趣旨も浸透してきているように思いました。試合内容も接戦が多く、予選で負けたチームが順位決定戦では勝利したり、デュースになったセットもあったりと、選手達も大満足で楽しんでいただいているように思います。全試合終了後には片付け・モップ掛けなどのお手伝いをしていただいただけでなく、スタンドもゴミを残さず持って帰ってくれたチームもあり、とても有り難かったです。

ぶっつけ本番で年に一度のクラス会的などチーム

【ちくま協会長 鈴木 功】

もありましたが、毎週集まって練習をしているチームがもっとたくさんあるのではないのでしょうか。そんなチームも参加しやすい大会になって行って欲しいと思います。この大会に参加した人達が長野県のバレーボールに深く携わり、広く普及活動に繋がってくれることを願って報告とします。

会場で準備から片付けまでしていただいた地元バレーボール協会の皆様、暑い中多くの試合に携わっていただいた審判員の皆様、本当に有り難う御座いました。



↑ 男子優勝 OJP



↑ 女子優勝 長野日大

第37回北信越小学生バレーボール大会

女子の豊科JVCが初優勝！ 男子:小布施・女子:湖南が3位入賞！

7月20日(土)～21日(日)、新潟県新潟市東総合スポーツセンターを主会場として標記大会が開催されました。

長野県からは男女各3チームが出場し、1日目のグループ戦の結果、2日目の決勝トーナメント戦に男子

【県小連理事長 西澤悦郎】

2チーム、女子3チームが進出し、女子第1代表の豊科JVCが優勝、第2代表の湖南バレーボールクラブが3位入賞、男子第2代表の長野小布施スポーツ少年団が3位入賞しました。

以下、チーム代表者のコメントです。

「北信越大会 2年連続出場、去年初出場ベスト4の雪辱果たして初優勝！」 《豊科JVC監督 丸山文生》

6月末、決勝ではフルセット2点差で敗退し、残念ながら準優勝となってしまった全日本予選県大会から3週間…、悔しさをバネに北信越大会は必ず優勝することを目標に、選手・指導者・保護者が一丸となって練習を重ね、7月20日(土)・21(日)に長野県第1代表として出場をして来ました。

1日目の予選グループ戦初戦、新潟市秋葉総合体育館にて新潟県開催地枠出場の「中之口JVC」と対戦しました。出だしから好調で、サーブで崩してチャンスからの攻撃を行う展開で、1セット目は21-7と快勝しました。しかし2セット目の中盤で、セッターがネット際での怪我で一時交代…。一時6点差までリードされましたが、選手達が気を取り直して24-22で勝ち切ることができました。

第2戦目、富山県第3代表「呉羽バレーボールクラブ」との対戦。1セット目は相手の多彩なサーブやスパイクに押されて接戦の末20-22で落としましたが、2セット目からは得意のサーブが走って完全に豊科ペース。21-11・15-9と2。3セット目を取って1位通過で翌日の決勝トーナメントへ進みました。

2日目は抽選の結果、第一シードで新潟市東総合スポーツセンターメインコートでの試合。1戦目は、前日対戦して1セットを落とした「呉羽バレーボールクラブ」との戦いでしたが、前日のデータがあって最初から強気のサーブで相手を乱して2-0で勝ちました。

2試合目は、いつも何回も試合をしている長野県第2代表「湖南バレーボールクラブ」との対戦。スタッフも子供達もリラックスして試合に臨みました。1セット目は相手エースを止められずに15-21でリードを許しましたが、2セット目から位置を修正して攻めるサーブで21-5・15-9と勝ち切りました。

迎えた富山県第1代表「黒部キッズバレーボールクラブ」との決勝戦は、お互いエースが打ち合う試合となりました。相手エースの強打を上げ続ける豊科の守備力、どこからでも誰からでもエースへ届けるトス・二段トス、そしてエースの踏ん張り追い込まれても崩れない精神力で21-16・21-15のストレートで勝利し、見事初の「優勝」に輝きました。途中、代わりに入った5年生、初めての大舞台で楽しそうに精一杯のプレーで何点か取り、来年の豊科も…と期待を感じる場面もあり、スタッフの日々の指導、子供達の練習成果が発揮できた2日間となりました。

まだまだ伸び代のある子供達。今年度、6年生は後3か月しかありませんが、更なる目標へ向かって一同突き進んで行きたいと思います！！ これまで本当に多くの皆様に応援して頂き、心より感謝申し上げます。そして、今後とも豊科JVCを応援の程宜しくお願い致します。最後に今大会に携わって頂いた皆様に感謝を申し上げます。



「第37回北信越小学生バレーボール大会に出場して」

7月20・21日に新潟県で開催された第37回北信越小学生バレーボール大会に長野県の第2代表として出場させて頂きました。

1日目の予選グループ戦の初戦は、初戦からくる緊張で全く自分たちのバレーが出来ず、残念ながら負けてしまいました。続く敗者復活戦も、かみ合わないバレーが続いて苦戦しましたが、何とか勝利することができ、3位通過で2日目の決勝トーナメントに進出することができました。

決勝トーナメントの初戦は、前日苦しんだのが良かったのか、終始自分たちのペース試合を進めることができ、快勝でスタートを切ることができました。2回戦も競り合いを制して2-0で準決勝に駒を進めることができました。準決勝は、練習試合をいつもやっている豊科JVCさんとの長野県同士の対決になってしまいました。1セット目は我々のペースで試合が出来て、1セット先行で試合に入ることができたのですが、2セット目からは終始豊科JVCさんのペースで完敗でした。

《湖南バレーボールクラブ監督 植松 悟》

しかし、北信越大会でチーム史上最高の3位という成績を収めることができ、大変いい経験になったと満足しています。できれば決勝で長野県対決をしたかったという思いがあって、そこだけは残念でした。また、この準決勝の2セット目、ブロックのワンタッチを我がチームの選手が自己申告して、「グリーンカード」を頂くことができました。その時は両ベンチから笑顔があふれてすがすがしい気持ちになりました。



スポーツマンシップの大切さを改めて子供から教わりました。6年生だけで臨んだ今大会ですが、この経験を活かし残り少なくなってきた小学生バレーを悔いの残らぬよう楽しんでくれればと思っています。

最後に、本大会にご尽力頂いた北信越小連役員の皆様、開催地の新潟県小連役員の皆様、また全力で支援下さった長野県小連の皆様にご感謝を申し上げます。本当に有難う御座いました。

「第37回北信越小学生バレーボール大会 男子第3位」日頃皆様のご支援ご協力のもと活動させて頂き、感謝申し上げます。

7月27、28日に新潟市で開催された北信越大会に長野県男子第二代表として参加させて頂き、準決勝で栗野男子(福井県)に1-2で負けて3位に終わりました。

6月末の長野県大会で負けて目標としていた全国大会に出場する夢が破れ、子供たちのモチベーションも下がり、チームとしてのまとまりやチーム力がなかなか上がりませんでした。前の週に行われた新潟県の中之口Kカップ大会に参加させて頂き、ようやくチーム全体の底上げをすることができたことで、今回の結果を出すことができました。

1日目の予選からフルセットの連続でしたが、1試合ごとに子供たちの成長を感じ取れる有意義な大会でした。6年生はこれから中学に向け、更に飛躍でき

《長野小布施スポーツ少年団監督 鈴木直人》
るようサポートして来たいと思います。引き続き宜しくお願い致します。



KOMAGANE CUP 第6回 ビーチバレーボール 中学生大会

男女計63チームの頂点に立ったのは砂の上での練習を重ねたチーム

駒ヶ根市森と水のアウトドア体験広場に於いて、7月27日(土)に男子の部、28日(日)に女子の部の標記大会を開催しました。またもやコロナウィルス感染症流行の兆しがある中、男女共18校(クラブチームを含む)から各32チーム(男子は1チーム棄権)が参加し、選手総数は男子が153名、女子が155名、合計300名を超えました。

尚、この大会は、神奈川県で毎年お盆過ぎに行われる湘南藤沢カップという全国大会の予選を兼ねていることもあり、それに準じてフリーポジションの4人制、ネットの高さはインドアと同じ男子2m30cm・女子2m15cm、チーム構成は交代メンバーも含めて選手6名以内となっています。只、インドアしか経験のない中学生にとっては、余り馴染みの無い砂の上での競技ということで、ボールに触る機会を極力増やすという意味で沢山のゲームを組みました。先ず男女共、32チームを4つのブロックに分けて、8点1セットマッチのリーグ戦を行い、各ブロック上位2チームの計8チームで決勝トーナメント(15点の1セットマッチ)という競技方法を取りました。しかし今年の参加チームを見ると、砂場やサンドコートで練習を積んで来たチームが沢山見られ、砂の上でのプレーのレベルが確実に上がっていることが窺えました。

男子の決勝戦に勝ち上がったのは、準決勝でガロンズ Jr を主体とするABC[北信連合]に逆転勝ちし

【県強化委員 木下久資】

たレッドディアーズA(飯島・中川中)と、ABCと同じブロックだったこともあり2位での決勝トーナメント進出だった下諏訪A(下諏訪中)でした。下諏訪Aは、準々決勝でAブロック1位チームを、準決勝でもCブロックの1位チームを競り合いの中で破っての決勝進出でした。双方、固いディフェンスから攻撃を繰り返し、白熱した試合となりましたが、最終的には今年5月からインドアのトレーニングも兼ねて10回以上もこのコートで練習を積んだレッドディアーズAが15-7で勝利。昨年3位に終わった先輩達の悔しさを晴らしました。

一方の女子は、予選リーグ戦を全勝で勝ち上がった松本国際中Bと、予選リーグ戦で2敗しながらも得失点差で何とか2位をキープして勝ち上がった塩尻中との決勝戦になりました。怪我人が出てインドアの6人制夏季大会では県大会に行けなかった悔しさをバネにビーチの練習に取り組んで来た塩尻中(スタメンはオール2年生)は、準決勝では6月末に行われた2人制ビーチの大会で優勝した2人がいる伊那東部中のチームを破って決勝に進出。片や松本国際中Bはオール1年生チームで、こちらもビーチに照準を合わせて練習を積んで来ました。準決勝では塩尻中と同様、この試合会場で練習を重ねて来た伊那東部中のチームを破っての決勝進出でした。両チーム共、攻守にバランスが取れており、序盤から見応えのあるラリーが

続きましたが、好サーブに加えて170cm超のエースブロッカーを持つ松本国際中Bが中盤から抜け出し、15-11で優勝杯を手中にしました。

この結果、男子のレッドディアーズAと女子の松本国際中Bが8月17日(土)～18日(日)、神奈川県で行われる湘南藤沢カップ全国中学生ビーチバレー大会への出場権を得ました。両チームの健闘をお祈り

致します。

最後になりましたが、この大会を開催するに当たり、竹淵副会長様を始めとする県協会の皆様、三島理事様を始めとする県ビーチバレー連盟の皆様、そして地元の上伊那協会の皆様に多くの御支援を頂きました。この場を借りて御礼申し上げます。



↑ 男子優勝 レッドディアーズA



↑ 女子優勝 松本国際中学校B

令和6年 国スポ 選手選考結果

【県強化委員長 鏡味照明】

6月3日高校総体県予選会終了後、6月16日国民スポーツ大会県予選会(成年の部)の終了後に、それぞれ国スポ県選抜チームの選手選考会が開催され、以下の選手が選考されました。まずは全種別が北信越ブロックを勝ち抜き、佐賀国スポへの出場権を獲得することを期待します。

《6人制バレーボール》

【少年男子】

監督 壬生 裕之 松本国際高校

林 優斗	松本国際高校3年
小田切 航輝	松本国際高校2年
勝山 敬太	松本国際高校2年
西村 堅志	松本国際高校2年
田澤 十希	松本国際高校2年
長縄 眞斗	松本国際高校1年
木村 海斗	松本国際高校1年
溝渕 冬馬	松本国際高校1年
藤井 祐成	松商学園高校3年
加藤 志音	松本県ヶ丘高校3年
小林 智哉	松本国際高校3年
山田 丈琉	松本国際高校3年

【少年女子】

監督 今井 一仁 都市大塩尻高校

北堀 未森	都市大塩尻高校3年
富樫 來華	都市大塩尻高校3年
涌井 涼帆	都市大塩尻高校3年
武井 陽菜	都市大塩尻高校3年
馬淵 天怡	都市大塩尻高校2年
大木 愛唯	都市大塩尻高校2年
清水 奏帆	都市大塩尻高校2年
上杉 海琉	都市大塩尻高校2年
今井 絢菜	都市大塩尻高校2年
佐藤 まひろ	都市大塩尻高校1年
下原 実緒	都市大塩尻高校3年
篠原 美濤	都市大塩尻高校1年

【成年男子】

監督 篠崎 寛 長野☆ガロンズ

小林 哲也	飯山市体協
酒井 駿	長野☆ガロンズ(ふるさと選手)
高井 大輝	長野☆ガロンズ
斎藤 優太	長野☆ガロンズ
丸山 正和	長野☆ガロンズ
荻野 颯大	長野☆ガロンズ
奥原 蓮	長野☆ガロンズ
中條 立樹	長野☆ガロンズ
川角 純平	長野☆ガロンズ
小林 雅治	長野☆ガロンズ
志水 一哉	長野☆ガロンズ
常田 将志	長野☆ガロンズ
鹿嶋 俊祐	長野☆ガロンズ
内藤 大	長野☆ガロンズ

【成年女子】

監督 原 秀治 ルートインホテルズ 信州ブリアントアリーズ

山村 涼香	
高野 夏輝	ルートインホテルズ 信州ブリアントアリーズ
佐藤 未羽	ルートインホテルズ 信州ブリアントアリーズ
関沢 小雪	ルートインホテルズ 信州ブリアントアリーズ
西村 美海	ルートインホテルズ 信州ブリアントアリーズ
白石 ふう香	ルートインホテルズ 信州ブリアントアリーズ
石原 果林	ルートインホテルズ 信州ブリアントアリーズ
村田 果捺	ルートインホテルズ 信州ブリアントアリーズ
山本 仁菜	ルートインホテルズ 信州ブリアントアリーズ
磯野 梢	ルートインホテルズ 信州ブリアントアリーズ
小山 晴那	ルートインホテルズ 信州ブリアントアリーズ
黒鳥 南	ルートインホテルズ 信州ブリアントアリーズ
宮崎 聖	ルートインホテルズ 信州ブリアントアリーズ
貝塚 穂	ルートインホテルズ 信州ブリアントアリーズ

《ビーチバレーボール》

【少年男子】

監督 北村 芳徳 長野工業高校

松本 航太	長野工業高校 3年
松本 康駕	長野工業高校 3年

【少年女子】

監督 三溝 裕五 松商学園高校

伊藤 沙帆	松商学園高校 2年
務台 真己	松商学園高校 2年

7 月 試 合 結 果

- ☆ 第27回全国ヤングクラブ男女優勝大会 県予選会
https://nagano-va.or.jp/R61.7.6_young_club.pdf

- ☆ 第45回北信越国民スポーツ大会 ビーチバレーボール競技
https://nagano-va.or.jp/R6.7.7_kokusupo_hokusinetu_beach.pdf

- ☆ 天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会 県ラウンド
https://nagano-va.or.jp/R61.7.7_tennohai.pdf

- ☆ 全日本9人制実業団男子女子選手権大会
https://www.jva.or.jp/wp-content/uploads/2024/03/kt_result_9dannshi_2024.pdf
https://www.jva.or.jp/wp-content/uploads/2024/03/kt_result_9ziyoshi_2024.pdf

- ☆ 第54回全日本中学校選手権大会 県予選会
https://nagano-va.or.jp/R6.7.14_tyugaku_sotai.pdf

- ☆ 第74回中部日本6人制総合男女選手権大会
https://nagano-va.or.jp/R6.7.15_tubunippon_ippan.pdf
https://nagano-va.or.jp/R6.7.15_tubunippon_koko.pdf

- ☆ 第37回北信越小学生バレーボール大会
https://nagano-va.or.jp/R6.7.21_hokusinetu_syogakusei.pdf

- ☆ 第3回長野県OB・OG交流大会
https://nagano-va.or.jp/R62.7.21_OBOG.pdf

- ☆ 第43回全日本9人制クラブカップ男子選手権大会
https://www.jva.or.jp/wp-content/uploads/2024/05/kt_result_club9_men2024.pdf

- ☆ 全国高等学校総合体育大会 女子バレーボール競技大会
https://www.jva.or.jp/wp-content/uploads/2024/05/kt_result_interhigh_women2024.pdf

- ☆ KOMAGANE CUP 第6回 ビーチバレーボール 中学生大会
(兼 第15回湘南藤沢カップ全国中学生ビーチバレー4人制大会 県予選会)
https://nagano-va.or.jp/R6.7.28_komagane_cup.pdf

8 月 スケジュール

7/30(火)～8/3(土)	第51回全国高校定時制・通信制大会	(神奈川県)
7/31(水)～8/4(日)	全国高等学校総合体育大会 男子バレーボール競技大会	(大分県)
8/2(金)～5(月)	第43回全日本6人制クラブカップ女子選手権大会	(大阪府)
8/6(火)	第45回北信越国民スポーツ大会監督会議・結団式	(長野市)
8/6(火)～7(水)	第54回全日本中学校選手権大会 北信越大会	(新潟県)
8/6(火)～9(金)	第44回全日本小学生大会	(東京都 他)
8/9(金)～11(日・祝)	ビーチバレージャパンジュニア 第23回全日本ビーチバレーボール高校男子選手権大会	(大阪府)
8/9(金)～11(日・祝)	‘24マドンナカップin伊予市 第28回全日本ビーチバレーボール高校女子選手権大会	(愛媛県)
8/9(金)～12(月)	第43回全日本9人制クラブカップ女子選手権大会	(奈良県)
8/10(土)～12(月)	令和6年度日本スポーツ協会公認コーチ1養成講習会	(大町市)
8/10(土)～13(火)	第43回全日本6人制クラブカップ男子選手権大会	(青森県)
8/12(月)～14(水)	ビーチバレージャパン 第38回全日本ビーチバレーボール男子選手権大会	(神奈川県)
8/17(土)～18(日)	湘南藤沢カップビーチバレージャパン4×4 U-15 第15回全日本ビーチバレーボール4人制中学選手権大会	(神奈川県)
8/22(木)～25(日)	第54回全日本中学校選手権大会 バレーボール競技	(福井県)
8/23(金)～25(日)	第45回北信越国民スポーツ大会バレーボール競技 (インドア)	(石川県)
8/23(金)～25(日)	第35回全日本ビーチバレーボール女子選手権大会	(大阪府)
8/23(金)～25(日)	第59回全国高等専門学校体育大会	(北海道)
8/24(土)～25(日)	第4回全日本ビーチバレーボール中学生選手権大会 (2人制)	(愛知県)
8/25(日)	長野県ソフトバレーボール秋季大会 北信越総合予選会	(須坂市)